

# 平成30年度 学校評価書

瑞浪市立釜戸小学校

## 1 子ども一人一人の学力の向上

重点目標と指標	論	目標の達成状況・取組状況・結果分析	改善策（次年度への方途）	学校関係者評価委員会から
<p>(1) どの子ども「分かった」「できた」と実感できる授業を工夫します</p>	<p>①一人一人の実態をきちんと把握し、個に応じた指導や学び直しの機会の設定・「釜っ子タイム」を活用するなど、基礎基本の力の定着に力を入れます。 ②自分の考えをもち、子ども同士で話し合ったり教え合ったりする活動や仲間の考えをじっくり聞き取ることが大切にし、「表現力」が高まる授業をめざします。また、算数科の授業において少人数指導を習熟度に合わせて実施し、理解が深まるよう丁寧な指導をします。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でペア交流など意見を交流する場面を設け、挙手発言が活発にできる授業づくりを行った。授業の終末で評価問題を位置付け、確実に見届けできるようにし、児童ができた喜びを味わえるようにした。</li> <li>○授業の中で考えを伝える活動を確実に位置付けたことで、3年生以上のアンケートでは「発言することが得意になってきた」と回答した児童が8割を超えている。また、「相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを相手に伝えることができた」と回答する児童は9割を超えている。</li> <li>○授業の終末の時間に評価問題を位置付けたことで、一人一人の定着状況が確実に見届けられた。</li> <li>●話し合い活動をさらに深めていくためには、児童の確かな考えづくりの定着が必要である。根拠を明確にした考えがもてるように指導を充実させていく必要がある。</li> </ul>	<p>①個人追究で、児童一人一人が根拠をもとにした（何で・何から・何を使って）確かな考えがもてるようにする。 ②今年度に引き続き、授業の中で表現する時間を意図的に位置付け、「伝える力」を高めるとともに、仲間の考えを聞き取って自分の考えを深められるように指導を充実させる。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8割から9割の子が「発言することが得意になった」とか「自分の考えを伝えることができた」と感じていることはすごいことだと思う。</li> <li>・1学期から2学期への伸びはすばらしい。算数科を通して「表現する力」が付いている。</li> <li>・残り1～2割の子に対する個別指導を期待したい。</li> </ul>
<p>(2) 基礎基本の定着を図ります</p>	<p>A</p> <p>①漢字の検定や算数の検定を年間各8回、昼休みに行い、学習したことの定着確認するための時間を設けます。また、算数では県web systemを活用し、個々の学力の定着を見届けます。 ②放課後や夏休みなどに個別の学習指導を実施します。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字・算数検定の実施により、児童の定着状況把握し、個に応じた働きかけをしてきた。また、学び直しプリントコーナーを設置し、児童が主体的に学習に取り組めるようにした。</li> <li>・知識・技能の定着を重点にした授業展開では、1単位時間の中で多くの問題に取り組む時間を確保し、十分に定着できるようにした。</li> <li>○漢字・算数検定で児童個々の定着確認をすることができた。保護者のアンケートからも高い評価を受けている。</li> <li>○昼の帯時間「釜っ子タイム」においてweb systemを活用することで、児童が自分の学習のペースに合わせた練習が効果的にでき、基礎的な力の定着につながってきている。</li> <li>●基礎的な力の定着には個人差がある。主体的に学習する姿勢を身に付けさせると共に、家庭学習の内容面の検討をさらに定着できるようにしていきたい。</li> </ul>	<p>①検定や県web systemを活用し、個々の学力の定着を見届けると共に、子ども自身が自分の課題に沿って主体的に学習できるようにする。 ②放課後や夏休みなどに個別の学習指導を実施する。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定の実施により子どもの伸びや身に付けた力を具体化し、保護者に伝えていくことは効果がある。検定の取組は保護者にとってありがたい。</li> <li>・保護者の95.5%がよいと評価されていることがすばらしい。</li> <li>・レディネステストの学び直し、評価問題も1単位時間や1単元に位置付けたことは継続してほしい。</li> </ul>

<p>(3) 学校での読書指導を充実させます</p>	<p>①読書をする習慣が日常的に定着するよう工夫し、幅広い分野の読書が進むようにします。 (読み聞かせ、図書館祭り、ブックトーク、学級の読書コーナーの工夫)</p> <p>②授業で調べ学習など図書館を活用し、図書を用いて探究的な学習が進むようにします。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の単元と関わる図書館の本を洗い出したことで、積極的に図書館の本を使った教科の学習を進めてきた。</li> <li>家庭での読書習慣に課題があったので、PTA 母親委員会を中心に学校図書館と家庭をつなぐ活動を実施した。</li> </ul> <p>○全校体制で図書館の本の利用指導を進めてきたことで、学習と関連させて図書館の本を活用する学び方が身に付きつつある。</p> <p>○PTA 母親委員会を中心に企画した「いいね! みんなの図書館」の取組を通して、親子で本に親しむ機会がつけられ、家庭での読書の啓発ができた。</p> <p>●今後、ICTを活用した環境を整えることで、調べ学習や、情報モラル学習を充実させ、確かな情報を取り入れることのできる力を育てていきたい。</p>	<p>①ICTを活用した環境を整え、調べ学習が充実できるようにする。</p> <p>②主体的に図書館の本を活用して学習できるように、児童や教師にとって学びの支えとなる環境を整える。</p> <p>③家庭への働きかけを工夫し、家庭と連携しながらよりよい読書生活につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館審査での2年連続受賞は素晴らしい。花の木行事とのタイアップで実施した「釜小ブックランド」の取組も工夫があり、面白い。</li> <li>学校の図書館が身近に感じられる活動がある。</li> <li>家庭での読書の習慣はとても難しいことだと思う。</li> </ul>	<p>A</p>
----------------------------	--	----------	--	---	---	----------

【学校関係者評価を受けての学校の改善策】

- 校内研究において個に応じた指導の在り方についても深めていくことで、一人一人が自分なりの考えをもって仲間とかわかって学習できるようにしていく。
- 家庭での読書の習慣化に向けて、PTAの活動と連携しながら、各家庭の意識が高められるようにしていく。

## 2 あたたかい人間関係を築く指導や援助の充実と社会性が高まる教育の推進

重点目標と指標	謳	目標の達成状況・取組状況・結果分析	改善策 (次年度への方途)	学校関係者評価委員会から	
<p>(1) 個々の思いを把握し、あたたかい人間関係をつくるよう努めます</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月心の悩みアンケート及び教育相談を実施し、児童の心の把握に努めるとともに、ケース会・職員会で指導方法についての確認をし、組織的に対応してきた。</li> <li>○毎月心の悩みアンケートを行って、相談したいことがある児童とは、面談を行い、具体的に話を聞いて指導してきた。トラブルがあったときには、すぐに「いじめ問題対策委員会」を開き、組織的に対応することができた。いじめの未解決事案は、0の状況である。</li> <li>○自分の気持ちを言葉で伝えることを大切にする指導を継続してきたことで、仲間のよさに気付いたり、仲間を気遣ったりする姿が増えてきた。</li> <li>●いじめや人間関係のトラブルの芽になるはたくさんある。小さなサインも見逃さないようにするために、教員研修も充実させ、早期発見、早期対応に心掛けていく必要がある。</li> </ul>	<p>①思いを言葉で伝えることを継続して指導するとともに、仲間のよさを見つける取組では、内容面の指導の充実を図ることで、よりよく仲間とかわかる心を育てていく。</p> <p>②考え、議論する道徳の授業を展開することで、自分の考えや感じ方を明らかにし、日常生活につなげていく。</p> <p>③いじめのない学級・学校づくりに積極的に取り組む。作成したマニュアルの見直しも随時に行っていく。(いじめにかかわる未解決事案0をめざす。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心のアンケートを通して児童に寄り添う指導をしていることがよく理解できた。</li> <li>問題をそのままにせず、面談などで早い対応をされている。</li> <li>善悪のけじめをはっきりと教えてほしい。</li> </ul>	<p>A</p>

<p>(2) 登下校時の見守りや分団指導を行います</p>	<p>①登下校の様子に関する情報を班長や連絡ノートに活用することで、実態把握をし、安全な登下校ができるようにします。 (毎朝の登校指導・月2回の下校指導を実施します。)</p> <p>②登下校や委員会を通して、校内・地域であいさつができるよう指導します。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の実態をこまめにつかみ、必要に応じた指導を行った。交通安全や人間関係のトラブル防止を努めたりした。</li> <li>・地域でも元気な挨拶ができるように指導してきた。</li> </ul> <p>○登校指導で得た情報は生徒指導が集約し、すぐに対応することができた。また、集団下校の際、生徒指導よりポイントを絞った安全指導についての話をするのが、児童の意識を高めている。</p> <p>○毎週、班長が担当職員とノートを通して情報を伝えていた。それをもとに担当からの指導も行われ、安全に登下校する意識をもてるようにしている。必要に応じて分団を集めて指導したことで、大きな事故やけがにつながらずにすんでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急時は職員で迅速に対応し、児童の安全確保に努めてきたが、今後地域との連携を図りながら、協力して見守りが行えるような体制を整えていく必要がある。</li> <li>●登下校時の挨拶については、一部の児童ではなく全員ができるように児童委員会を中心にした働きかけで、意識を高めていきたい。</li> </ul>	<p>①委員会の働きかけを通して、仲間や地域の方に進んで挨拶をする子を育てる。</p> <p>②登下校の様子に関する情報を積極的に収集することで実態を把握し、指導の徹底を図る。</p> <p>③分団の班長と担当教員との連絡ノートの活用することで、安全面やあたたかい人間関係づくりの面の指導をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方とも協力して事故0で安全な登下校に努めてほしい。</li> <li>・目線の高い大人では気付かない小さな危険でも子どもの目から見れば大きな危険につながる場合もある。連絡ノートは有効な手段だと思う。子ども達の登下校の様子が把握できると思う。</li> <li>・子ども達と挨拶を交わすことで、地域の見守りにつながっていけると思う。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>(3) 学校からの情報発信と保護者からの情報収集に努めます</p>	<p>①温かい人間関係づくりや安全指導に関わる指導内容を積極的に保護者の皆様にお知らせします。(学校での指導内容をご理解いただき、家庭や地域でもそれを大切にして指導していただく。)</p> <p>②保護者や地域の皆様から学校に情報を提供していただけるよう働きかけます。(家庭や地域で心配なこと、気づいたこと、子どもの良い姿などの情報を教頭までお寄せください。) (年間2回、ハッピーメッセージを募集します。)</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピーメッセージ活動を保護者や地域の方にも呼びかけ、情報収集をし、地域とつながって子どものよさを認め合えるようにした。</li> <li>・保護者からの要望や情報提供を確実に把握するように努めた。また、必要に応じて職員で共通理解し対応を協議した。</li> </ul> <p>○通信や連絡帳、直接電話での連絡やメルマガなど、適宜必要な媒体で連絡を取ることができ、必要な情報を迅速に的確に伝えることができた。</p> <p>○必要に応じて保護者との面談等、丁寧に対応することで、共通理解を図って子どもの育ちを支えられた。</p> <p>○校内だけでなく、家庭や地域から頂いたハッピーメッセージにより、自分に自信をもって前向きに取り組もうとする気持ちが育ってきている。</p> <p>○ホームページをほぼ毎日更新し、児童の活動の様子や頑張りが家庭や地域に伝わるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校が重点として取り組む内容を家庭・地域にもっと広め、さらに協力して子どもを育てていけるようにする。</li> </ul>	<p>①保護者や地域の方に学校が重点として取り組んでいく挨拶の取組について広め、学校と家庭、地域がつながって子どもを育てていくことができるようにしていく。 (ハッピーメッセージの募集は挨拶にかかわることに特化する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いところに目が行きがちだが、ハッピーメッセージで「いいところを見てもらえる」と子ども達が感じられてとても良いことだと思う。</li> <li>・お互いに認め合い、言葉に残すことはとても良いことだと思う。</li> <li>・ハッピーメッセージは、なかなか目にする機会がなくて、地域の方はほとんど知らないと思う。</li> </ul>	<p>A</p>

【学校関係者評価を受けての学校の改善策】

・ハッピーメッセージの取組は児童の心を育てていくことに有効である。学校が大切にしていることを家庭・地域にも積極的に発信し、児童が認められる場を多くすることで、自己肯定感がさらに高められるようにしていく。

### 3 家庭や地域と連携し地域とともに歩む学校の推進

重点目標と指標	評価	目標の達成状況・取組状況・結果分析	改善策（次年度への方途）	学校関係者評価委員会から	
<p>(1) 家庭学習の習慣化と生活習慣の充実をめざします</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育週間を幼稚園・中学校と連携し、年3回、同じ期間に実施した。また、釜戸地区幼小中一貫教育推進協議会において課題となった「情報機器の使い方」について重点的に取り組んだ。</li> <li>・高学年で外部講師を招聘し、情報モラル学習を進めた。</li> <li>・年間2回家族読書週間を設け、親子読書や家庭での読書習慣定着へ働きかけた。</li> <li>○家庭教育週間を地域ぐるみで実施することで、児童の意識が高まっているという保護者の意見があった。</li> <li>○学級懇談会を利用してどの学年も情報機器の活用をテーマにした意見交流をしたことで、保護者の情報機器に関する意識が高まった。</li> <li>●家庭学習や家庭での読書については、家庭によって意識の差がある。今後も家庭学習の習慣化や家庭での読書の大切さについてPTA活動とも連携して、保護者に理解してもらえるように働きかけをしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「家庭学習のすすめ」の改良をし、家庭学習の習慣化や読書の充実につなげる。発達段階に応じた家庭学習の内容を検討し、主体的に学習する子を育てていく。(年間3回の家庭教育週間を実施)</li> <li>②PTAと連携し、ゲーム時間やPC使用時間、携帯電話等による情報モラル・ルールづくりについて一緒に考え、生活習慣のさらなる改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化は難しいので、継続的な働きかけしかないと思う。今後も続けてほしい。</li> <li>・読み聞かせや親子読書、計算、漢字など保護者のかかわりが大切だと思う。</li> <li>・地域とともに歩む学校という位置付けがすばらしい。</li> </ul>	B
<p>(2) ふるさと教育を充実し地域とともに歩む教育活動を行います</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も保護者や祖父母の方などに、運動会前の草取りやスケート教室のボランティアをお願いすることができ、地域の方々に支えていただくことができた。</li> <li>・全ての学年が地域の自然や歴史などとふれあえる学習を展開し、地域の先生から様々なことを学ぶことができた。</li> <li>○地域学習を通して、地域についての理解が深まり、さらに愛着をもつ心が育ってきている。</li> <li>○地域の方の指導援助は担任の指導の支えになった。</li> <li>●教育活動に無理のないようにして、地域の方から学ぶ活動、地域に発信していく活動を充実させていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭科、野菜作り、地域の自然や歴史の学習において地域の人材を積極的に活用する。地域の方から学ぶ、地域に発信していく等、地域とのつながりを強化する。</li> <li>②地域にある資源を教材化し、地域をより知っていく教育を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者100%に対して職員87.5%と、職員がもっと地域教育活動に取り組みたい。校区の財産である人を今後も活用する実践を進めてほしい。</li> </ul>	A

<p>(3) 子どもたちの地域行事への参加や地域の諸活動への協力を大切にします</p>	<p>①公民館・青少年育成町民会議や子ども会と連携し、地域行事に主体的に子どもたちが参加できるよう協力します。 ②中学校との連携を工夫し、地域で活躍できる子どもを育てます。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りや文化祭に協力し、合唱を披露した。高学年は初めて夏祭りのボランティアを経験した。4年生は福祉に関わる学習を進め、ひなたぼっこの集いで地域のお年寄りに合唱を披露した。</li> <li>・小中合同の挨拶運動を実施し、校区で大切にしている挨拶の取組を一緒に行うことができた。</li> <li>○地域で発表する機会を通して自信をもつことができています。</li> <li>○夏祭りや文化祭では、地域に貢献することの意味を考えるよう児童に働きかけることで、主体的に取り組むことができた。また、高学年は初めてボランティアの経験をし、より積極的な姿も見られた。</li> <li>●地域の願いを理解し、児童が意欲をもって活動に参加できるよう働きかけ、地域に愛着がもてる心をさらに育てていきたい。地域で子どもが活躍する場を意図的に設定していく必要がある。</li> </ul>	<p>①公民館・青少年育成町民会議や子ども会と連携し、地域行事に主体的に子どもたちが参加できるよう協力する。 ②高学年は地域行事への主体的に参加できるよう、意識を高める指導を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の統合によりますます小学校の地域での活躍が期待される。「つなぐ」取組を継続してほしい。</li> <li>・元旦のジョギングから始まり、節分の会、夏祭りなど、地域の行事がたくさんあるが、子ども達が積極的に参加してほしい。参加することで釜戸を大切にする心を育ててほしい。</li> </ul>	<p>A</p>
<p><b>【学校関係者評価を受けての学校の改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域とともにある学校」を目指して、地域と学校が「どんな活動を」「どのようにかかわっていくのか」について考え、お互いに実りのあるつながりを築いていく。</li> <li>・地域で活躍できる子どもを育てていくために、地域行事に積極的に参加できるように働きかけていく。</li> </ul>					